



おもひと月のながれ

- 9月1日(月) 部長会
同和問題駅頭啓発活動
国スポ障スポ市選手壮行会
- 9月2日(火)
- 9月3日(水) 議会(議案質疑・一般質問)
- 9月4日(木) 議会(一般質問)
- 9月5日(金) 議会(一般質問)
- 9月6日(土)
- 9月7日(日) 永原御殿跡発掘体験教室
- 9月8日(月) 部長会
- 9月9日(火) 決算分科会・予算分科会
- 9月10日(水) 老人クラブ大会
- 9月11日(木)
- 9月12日(金) 部内会議
- 9月13日(土) YASUIほほえみ杯
中学生バレーボール大会
同和問題講演会
- 9月14日(日) おいでやす中主フェア視察
弥生の森秋祭り視察
国スポ・体操競技見学
としょかんで夜更かしイベント視察
- 9月15日(祝月) 敬老の日
- 9月16日(火) 部長会
- 9月17日(水) 教育委員会定例会
- 9月18日(木)
- 9月19日(金) 決算特別委員会・予算常任委員会
北中祭体育の部見学
- 9月20日(土) 竹工芸作家 杉田静山さん工房見学
- 9月21日(日)
- 9月22日(月) 部長会
- 9月23日(祝火) 秋分の日
- 9月24日(水) 部内会議
- 9月25日(木) 全員協議会 議会(閉会)
- 9月26日(金)
- 9月27日(土) 国スポ卓球競技開始式
- 9月28日(日) 国スポ総合開会式
- 9月29日(月) 部長会
人事訪問(1日目)
- 9月30日(火) 人事訪問(2日目)

教育長だより

「相手がいるから、仲間がいるから…」

滋賀県で44年ぶりに開催された「わたSHIGA輝く国スポ大会」。本市では、9月28日から10月8日の本大会会期中には、総合体育館で卓球競技(全種別)とバスケットボール競技(成年女子)、希望が丘文化公園では、ラグビーフットボール競技が実施されました。

また、公開競技として武術太極拳(8月30日～31日:総合体育館)、デモンストレーションスポーツとしてスポーツ鬼ごっこ(6月1日:野洲川河川公園)とマリンスポーツフェスティバル(7月21日:琵琶湖マイアミ浜)が開催されました。

私は、大会関係者として卓球とバスケットボールを観戦しました。特に、滋賀県チームの卓球成年女子の決勝戦、バスケットボールは、1回戦から準決勝までの3試合は、滋賀県チームの大応援団と一緒に応援しました。私だけかもしれませんが、それぞれの試合に気持ちごとに入り込んでしまうと、すごくドキドキして応援していた手が止まり、自分が試合しているというか応援されているような気持ちになっていました。

そんな時に、滋賀県チームの大応援団からの応援、市内の小・中学生のプレーを鼓舞する大声援が聞こえてくると、なぜか我に返っていました。応援は、「自分を冷静にさせてくれる。」と実感した一瞬でもありました。

ところで、もう50年ほど前の話になりますが、私が高校生の時の剣道部の顧問の先生から言われたことがあります。

当時、私が入ったときは剣道同好会。2年生から剣道部になりました。部員も少なかったのも、何とか団体戦の5人のメンバーでしたが、試合には負けてばかり。負けた悔しさと勝った相手の選手やチームを恨んだりしながら、母親に作ってもらった弁当を午前中の早い時間にふてくされながら食べていました。

常々顧問の先生からは、「相手がいるから試合ができるんだ。仲間がいるから団体戦ができるんだ。」と話されていたことを思い出しました。

剣道では、「礼に始まり礼に終わる。」のように、技術よりも「礼儀・礼節」を重んじています。また、相手への敬意と感謝の心から「始まり終わる。」という教えもあります。実際、私も経験したことがありますが、剣道の試合(3本勝負)では、例えば、相手から「メン」で一本を取ったあとに、ガッツポーズや叫びなどで姿勢を崩す(残心【打突後も油断せずに、次の動作に備える姿勢】なし)と、その一本が認められない(取り消される)ことがあります。

顧問の先生からの「相手がいるから…、仲間がいるから…」は、剣道に限らず、個人でも団体でも、私の反省でもありますが、勝敗に関係なく、相手に対して尊敬(リスペクト)する気持ちは大切にしたいものです。

ピックアップ

各イベント等へ出席しました

例年は、8月に開催していた「永原御殿跡(江戸時代初期に徳川家康などが宿泊した将軍家専用の城郭)体験発掘教室」を、今年は9月7日・14日・15日の3日間に市内外から23人が参加されました。

9月7日は、10人のみなさんが、永原御殿本丸「玄関」跡を発掘調査しました。時折、小さな瓦などの異物の発見に心を躍らせていました。

また、9月20日は、市歴史民俗博物館の夏期テーマ展「竹工芸作家 杉田静山の世界ー美へのまなざしー」(会期:7月18日から9月28日)に際して、杉田静山さん(1932年～2017年)の市内にある竹工芸作品を制作された工房を見学しました。

静山さんは、県立聾話学校の教員を務めながら制作活動をされていたので、独学で竹工芸を学ばれています。

静山さんの作品は、どれも繊細で緻密な仕上がりであり、工房に展示された数々の作品からも静山さんのお人柄が偲ばれました。



発掘体験教室



国スポ障スポ関係行事 その①



9月28日に開幕した「わたSHIGA輝く国スポ大会。」私もHATOスタジアムで行われた総合開会式に参加。観客7千人が見守る中で、北海道から順に、選手・監督等が入場行進。滋賀県からは700人の大きな集団と合わせた開会式には、各都道府県から2500人が参加。

本市では、総合開会式の前日に、総合体育館で卓球競技の開始式が開催され、10月2日まで、4種別(少年男女・成年男女)で熱戦が繰り広げられました。また、10月4日からは、バスケットボール競技が開催され、7日の決勝戦で閉幕。

卓球競技、成年女子のバスケットボール競技には、多くの観戦に來られたみなさんとともに、市内の小・中学生も観戦しました。特に、滋賀県チームの試合には、一段と熱のこもった応援が見られました。



選手激励会 9/1



総合開会式 9/28

